

令和2年度 摂津市教育推進プラン

摂津市教育委員会

カラーで見やすいインターネット版でもご覧いただけます



目 次

1. はじめに.....	1
2. 教育委員会について	1
(1) 教育委員会とは	1
(2) 教育委員会の構成	1
3. 教育推進プランの位置づけ.....	2
4. 教育推進プランについて	3
5. 具体的な取組み	4
目標 1. 生きる力の育成	4
目標 2. 支援教育の充実	19
目標 3. 安全安心で快適な学校・地域づくり	21
目標 4. 子ども・子育て支援の充実	25
目標 5. 教育コミュニティづくりと生涯学習活動の推進	31
[参考] 摂津市が独自に学校に配置している支援人材一覧（★印を記載）	36

1. はじめに

摂津市総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つの柱で構成されています。本教育推進プランは、市の最上位計画である摂津市総合計画との整合性を確認しながら、教育委員会が単年度に取り組む内容を計画するものです。また、年度終了後には「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に従い、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表を行います。

2. 教育委員会について

(1)教育委員会とは

教育委員会とは、市の教育行政に関わることを審議し決定する機関です。

教育委員会は、教育長と4名の教育委員で構成されており、規則の制定・改廃や、教職員の人事の決定、予算に関する意見の申出などを行う毎月1回の教育委員会会議のほか、学校訪問、各種行事への出席など、教育に係わる幅広い活動を行っています。

教育委員会会議は公開をしておりますので、市民の傍聴が可能です。

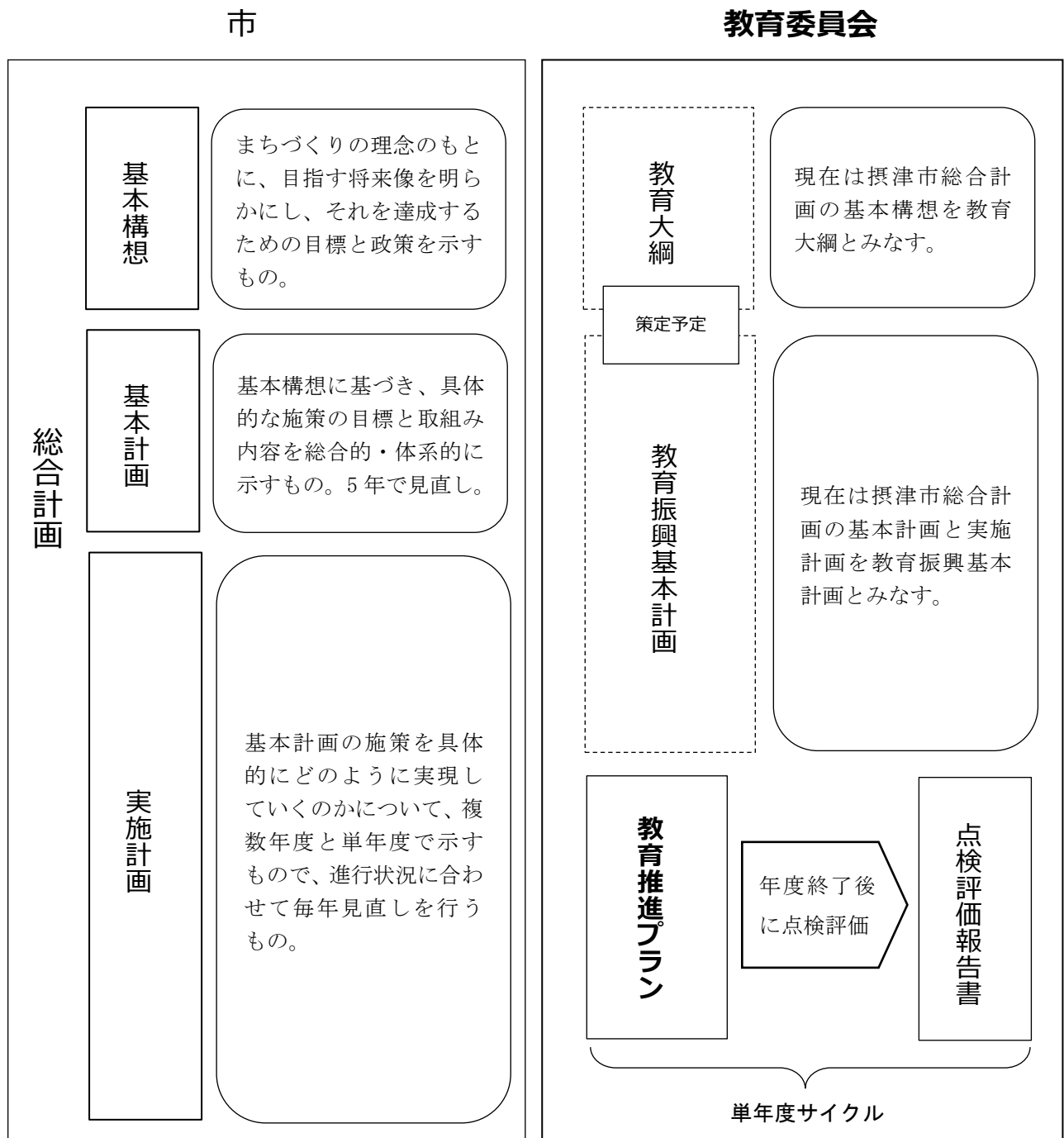
また、制定・改廃した規則等については、市役所正面に掲示しています。

(2)教育委員会の構成（令和2年度）

職名	氏名	最初の就任日 (任期満了日)
教育長	ハシオダニ トモヤ 箸尾谷 知也	H25. 4. 1 R 3. 9. 30
教育長職務代理者	フクモト ミノル 福元 実	H24. 4. 1 R 3. 3. 31
委 員	オオヤ ユウコ 大矢 優子	H20. 3. 8 R 4. 3. 31
委 員	ニシカワ トシタカ 西川 俊孝	H28. 11. 11 R 5. 3. 31
委 員	サカイ トモコ 坂井 知子	R 2. 4. 1 R 6. 3. 31

- ・教育長、教育委員は市長が議会の同意を得て任命する。
- ・教育長の任期は3年、教育委員の任期は4年で、それぞれ再任可。
- ・教育長職務代理者は教育長が教育委員のうちから指定する。

3. 教育推進プランの位置づけ



4. 教育推進プランについて

令和 2 年度の事業のうち本市の重要な課題に対する事業である重点事業とそれ以外のその他事業に分けて挙げています。

施策一覧

(㊦は重点事業を含む施策を指す)

目標	施策の方向性	施策
1 生きる力の育成	(1) 確かな学力を育む教育	① 授業改善の推進 ㊦ ② 学習習慣の定着・学習意欲の向上 ㊦ ③ 読書活動の推進
	(2) 豊かな心を育む教育	① 人権教育の推進 ② 道德教育の推進
	(3) 健康・体力の向上を目指す教育	① 運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着 ② 学校体育と部活動の推進
	(4) これからの時代に対応と する教育	① グローバル化に対応した英語力の向上 ㊦ ② プログラミング的思考力の向上 ㊦
	(5) 今日的な課題に対応した 教育	① いじめの防止・不登校児童生徒の支援 ㊦ ② 進路選択の支援 ③ 防災教育の推進
	(6) 一貫性のある教育	① 就学前教育と保幼小連携の充実 ② 小中一貫教育の推進
	(7) 教育の質を高める体制	① 学校園所経営の改善と職員育成 ② 地域・関係機関との連携強化
2 支援教育の充実	(1) 支援教育と就学支援	① 個に応じた一貫性のある指導の推進 ㊦ ② 相談体制の充実
3 安全安心で快適な学校・地域づくり	(1) 安全安心で快適な学校環境整備	① 教育環境の整備 ㊦ ② 感染症の予防 ③ 学校給食の安全衛生管理 ㊦
	(2) 安全安心な地域づくり	① 登下校時の安全確保・見守り体制の充実
4 子ども・子育て支援の充実	(1) 子ども・子育て支援の充実	① 教育・保育の充実 ㊦ ② 子育て相談・支援 ㊦ ③ 子育て家庭に対する多様なサービスの充実 ㊦ ④ 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援 ㊦
5 教育コミュニティづくり と生涯学習活動の推進	(1) 生涯学習の推進	① 学びつづける機会の提供 ② 家庭教育力の向上 ③ 学習施設の整備と活用 ㊦
	(2) 青少年の健全育成の推進	① 青少年団体の活動支援と連携 ② 体験学習等の機会の提供
	(3) 文化財の保護活用と市史編さん	① 文化財の状況把握と保護 ② 市史編さんと歴史資料の調査・保存
	(4) 市民に親しまれる図書館	① 図書館運営の管理 ② 子ども読書活動の充実 ㊦

5. 具体的な取組み

目標 1 生きる力の育成

(1) 確かな学力を 育む教育

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたちのために、学習意欲を高め、自ら学び、主体的に行動し、よりよく問題解決する資質や能力などを育成します。

①授業改善の推進

学力および学習状況の調査分析から、知識・技能の習得とそれを活用する力を育てるため、授業改善を中心とする学力向上に向けた取り組みを行う。

事業名	学力向上推進事業 《重点事業》		
事業予算(千円)	20,763		
令和2年度実施内容			
各校において、摂津市学力定着度調査※、全国学力・学習状況調査、及び府チャレンジテスト等の結果分析に基づき、反復学習や家庭教育の推進等の学力向上に向けた取り組みを実施する。また、学習指導要領が示す目標に向け、研修支援や研修会を実施し、各校の授業づくりを支援する。			
指標			
①授業に主体的に取り組んでいる児童生徒の割合：前年度以上（R1.12月調査分：44.3%）			
②学年毎の同一集団で学力定着度調査結果が前年度以上の学年数：50%以上（R1：65%） （教科は国語・算数、10小学校の3～6年生の4学年で、全80学年）			
実施内容に係る予算（千円）	5,500（±0）		

※摂津市学力定着度調査：市教委及び各学校が児童の学習の定着状況を把握し、指導に生かすために実施する学力調査。小学1～6年生が対象。

事業名	小中学校教育用コンピューター事業
事業予算(千円)	353,369 (R2:9,444 R1 度繰越 : 343,925)
令和 2 年度実施内容	
校務用及び教育用 PC 並びにネットワーク機器の保守整備を行い、円滑な活用環境を維持する。また、ICT 教育推進に向けた校内高速大容量ネットワーク環境を整備する。	
指標	
①児童生徒がタブレット型 PC を活用した授業を週に 2～3 時間以上実施している割合 ：小学校 50%、中学校 10% (R1.12 現在 : 小学校 42% 中学校 4%) ②プロジェクターを活用した公開授業実施校数 : 100%	
実施内容に係る予算 (千円)	4,709

事業名	学校マネジメント支援事業
事業予算(千円)	106,484
令和 2 年度実施内容	
摂津市の重点課題に取り組む学校を研究重点校とし、研究計画の策定から研究授業・研究協議の実施に至るまでの支援を行う。また、重点支援校の研究発表等により成果の普及を図る。	
指標	
授業がよくわかる児童生徒の割合 : 前年度以上 (R1 の 12 月調査分 : 44.1%)	
実施内容に係る予算 (千円)	7,220

②学習習慣の定着・学習意欲の向上

地域や家庭の事情により、学校以外で学ぶ機会が少ない児童生徒に学習支援を行う。

また、児童生徒の学習習慣の定着や学習意欲の向上を図るため、授業中のサポートと個別支援のための支援人材を学校に派遣する。

事業名	学力向上推進事業 《重点事業》
事業予算(千円)	20,763
令和 2 年度実施内容	
小学 6 年生から中学 3 年生を対象に平日の夜、市内 5 か所で「摂津 SUNSUN 塾※」を開設する。(1 学年あたり年間 60 回、教科は国語 30 回、算数・数学 30 回) (R1 : 小 6・中 1 を対象)	
指標	
① 平日・休日 1 時間以上学習する児童生徒の割合 (4 月から 1 月まで) : 前年度以上 (参考 : H30 年度 1 月調査分 平日 50.9%、休日 34.5%) ②受講生の学力 (学力テスト) : 5 月現状値以上	
実施内容に係る予算 (千円)	14,053 (+7,513)

※摂津 SUNSUN 塾 : 摂津市が民間委託する無料塾。5 月から翌年 3 月までの年間 60 回実施。保護者はテキスト代、テスト代のみ負担する。

事業名	学校マネジメント支援事業		
事業予算(千円)	106,484		
令和2年度実施内容			
校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う教育活動支援員★を全小中学校に配置する。			
指標			
教育活動支援員の配置：全小中学校			
実施内容に係る予算（千円）	52,008		

事業名	学習サポーター派遣事業		
事業予算(千円)	7,400		
令和2年度実施内容			
学校における学習活動を支援する学習サポーター★を各校に派遣する。			
指標			
学習サポーター派遣校数：全校			
実施内容に係る予算(千円)	7,400		

③読書活動の推進

読書活動を推進し、児童生徒の総合的な言語能力を高めるとともに、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きていく力を身に付けるよう支援を行う。

事業名	小中学校管理運営事業		
事業予算(千円)	102,261		
令和2年度実施内容			
全校の学校図書館の蔵書冊数を拡充し、学校図書館図書標準を達成する。			
指標			
① 小学校図書館図書標準充足率：100%（R1：図書標準冊数達成校 50%）			
② 中学校図書館図書標準充足率：100%（R1：図書標準冊数達成校 40%）			
実施内容に係る予算（千円）		7,690	

事業名	学校読書活動推進事業		
事業予算(千円)	20,822		
令和2年度実施内容			
図書館環境を整え、児童生徒が本と出会う機会を増やし、自主的な読書活動を支援する学校読書活動推進サポーター★を全小学校に配置する。			
指標			
学校の授業時間以外に、一日あたり10分以上読書している児童生徒の割合：前年度以上 (参考 H30 小学校 56.9% 中学校 41.9%)			
実施内容に係る予算(千円)	16,819		

(2)
豊かな心を育
む教育

生命尊重の心の不十分さや自尊感情の乏しさなどから自制心や規範意識の低下している現状を受け、子どもたちの豊かな心や人間性を育みます。

①人権教育の推進

学校において、男女平等教育や国際理解教育等、子どもの発達段階に応じた様々な人権問題の学習を進めるとともに、身近な差別や偏見に気づくよう、問題を解決する力を育む。また、教職員の人権意識と指導力の向上を図る。

事業名	日本語指導教育事業		
事業予算(千円)	4,837		
令和2年度実施内容			
海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対し、一人ひとりの課題に応じて日本語指導及び母語指導等の支援を行うため、日本語指導講師★を派遣する。			
指標			
日本語指導講師派遣時間数：1,050時間以上（参考 H30 年度 948h）			
実施内容に係る予算（千円）	4,837		

事業名	教職員人権問題研修事業	
事業予算(千円)	110	
令和2年度実施内容		
教職員一人ひとりが、障害者理解、国際理解、男女平等、同和問題等人権及び人権教育に関する正しい知識を深め、それぞれの課題解決に向けてその指導力を高めるため、課題別の人権教育研修会を実施する。		
指標		
研修実施回数：3回		
実施内容に係る予算（千円）	60	

事業名	国際理解教育推進事業		
事業予算(千円)	1,910		
令和2年度実施内容			
児童生徒が他国・他地域の言語や文化について、活動を通じて学ぶため学校に国際理解教育社会人講師★を派遣する。			
指標			
国際理解講師の派遣時間の活用率：90%以上			
実施内容に係る予算（千円）	1,910		

②道徳教育の推進

全ての子どもが大切にされていることを実感でき、まわりの人も大切にできる意識と態度を育てることは、次代を担う子どもたちの生きる力の基盤となる。自尊感情やコミュニケーション力、規範意識や人権意識など社会の一員として自立するための基礎となる力を育む。

事業名	道徳教育の充実	
事業予算(千円)	－	
令和２年度実施内容		
小中学校での「特別の教科道徳」が適切に実施されるよう道徳教育推進教師※等を対象とした教育内容や評価方法の事例研究を行う研修を実施する。		
指標		
研修会開催数：５回		
実施内容に係る予算（千円）	－	

※道徳教育推進教師：指導計画の作成、教材の整備・充実など道徳教育の推進を主に担当する教師。

(3)

健康・体力の向上を目指す教育

子どもたちの体力や運動能力の向上に向け、教科だけでなく、運動部活動など学校教育活動全体を通して取り組みます。

①運動意欲の向上・基本的生活習慣の定着

人間の活動の源となる体力の向上には、児童生徒の運動機会の増加と生活習慣の改善が必要である。児童生徒の健康・体力づくりを進め、生涯にわたる心身の健康の保持増進のための基礎を培う支援を行う。

事業名	運動意欲の向上及び生活習慣の改善と食育の推進
事業予算(千円)	—
令和2年度実施内容	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査*や全国学力・学習状況調査により、児童生徒の運動習慣や生活習慣の実態を把握し、運動への興味関心を深め、その土台となる食事・睡眠などの基本的な生活習慣の定着を図る。	
指標	
朝食を毎日食べると回答した児童生徒の割合：前年度以上 (R1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査*における児童生徒質問紙：小学校男女平均 77.7%・中学校男女平均 73.3%)	
実施内容に係る予算(千円)	—

※全国体力・運動能力、運動習慣等調査：子どもたちの体力向上と生活習慣改善を図るための調査として、小学5年生と中学2年生を対象に運動能力に関わる実技調査8項目と運動習慣等の質問紙調査を実施している。

②学校体育と部活動の推進

全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、学校体育の充実に取り組むとともに、生徒の心身の健全な成長や社会性を高める部活動を実施し、生涯を通じて運動に親しむ資質や能力を身につけるための取り組みの支援を行う。

事業名	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
事業予算(千円)	—
令和2年度実施内容	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査や全国学力・学習状況調査結果を踏まえ、各校の体力向上の取り組みや体育授業の充実に図る。	
指標	
①アクションプラン作成校数：全校 ②体力合計点の府平均以上校数：50%以上	
実施内容に係る予算(千円)	—

事業名	学校部活動等助成事業
事業予算(千円)	5,734
令和2年度実施内容	
中学校の部活動に対して財政的な支援を行うとともに、学校教育相談員★による生徒の健康や安全、体罰禁止等に留意した巡回指導及び研修を行う。また、部活動指導員★（R2：6名、R1：5名）を派遣し教職員の部活動に対する負担軽減を図る。	
指標	
①学校教育相談員による巡回指導校数：全中学校 ②部活動指導員が派遣された部活動の顧問教員の時間外勤務時間減少：10%	
実施内容に係る予算(千円)	5,734

(4)

これからの時代に必要な教育

情報通信技術や異文化に対する理解を進め、外国語によるコミュニケーション能力の育成や課題解決に向け試行錯誤できる論理的思考力を育みます。

①グローバル化に対応した英語力の向上

外国語活動および外国語の授業づくりについて、指導方法や評価の研究・研修の機会を設け、教員の指導力を向上させることにより児童生徒のコミュニケーション能力を育成する。また、外国人英語指導助手★（ALT）や地域人材の効果的な活用等により、小中学校における新学習指導要領の円滑な実施を支援し、英語教育の指導体制を確立する。

事業名	英語教育推進事業 《重点事業》
事業予算(千円)	25,901
令和2年度実施内容	
大阪府公立小学校英語学習6か年プログラム「DREAM [※] 」を全小学校で活用し、児童の英語力向上と教員の指導力向上を図る。「DREAM」の活用や外国語活動及び外国語の授業づくりのための研修を実施するとともに、外国人英語指導助手（ALT）を中学校区ごとに通年派遣することにより、小中連携したカリキュラムづくりを推進する。また、外国語活動支援員 [★] を派遣し、各小校の授業づくりを支援する。	
指標	
①「英語を話せるようになりたい」と回答する児童の割合：75%以上 （積極的回答「そう思う」の割合）	
②中学生チャレンジテスト1年生（英語）の正答率：府平均以上	
実施内容に係る予算（千円）	902（±0）

※DREAM：大阪府教育委員会が作成し、小学1年生から6年生を対象とした1回15分×週3回のDVD視聴を通じた学習で、4技能（聞く、読む、話す、書く）育成を図るプログラム。

②プログラミング的思考力の向上

児童生徒の発達段階に応じた ICT 機器や教材等の活用を通してコンピューターを使用したプログラミング体験に取り組む。また、「プログラミング的思考力」を教育課程全体で育成することができるよう、ICT 環境整備を図り、教員による理解及び指導力向上のための研修を行う。

事業名	小中学校教育用コンピューター事業 《重点事業》
事業予算(千円)	9,444
令和2年度実施内容	
各校担当者を中心に、アプリケーションソフトウェアやブロック教材等を使用したプログラミング教育に関する研修を実施する。また、系統的なプログラミング教育実施に向けた年間指導計画の作成について研修を行う。	
指標	
①「授業で、ICT をどの程度活用しましたか」に対する児童の肯定的な回答の割合：25%以上 (肯定的回答「毎日」、「週1」の割合) (R1：16.6%)	
②「プログラミングの授業が楽しい」と回答する児童の割合：80%以上 (積極的回答「そう思う」の割合)	
実施内容に係る予算(千円)	—

(5)
今日的な課題
に対応した
教育

貧困化や核家族化など社会の変化に対応し、子どもたちが安全・安心に過ごせるために今日的な課題に対応した教育を行います。

①いじめの防止・不登校児童生徒の支援

いじめ・問題行動や不登校等の状況は、その背景が複雑化している。学校・保護者・地域とのつながりをさらに強め、関係機関とも連携して、未然防止・早期対応・再発防止に努め、全ての子どもたちの安心・安全を確保する取り組みを進める。

事業名	スクールソーシャルワーカー等活用事業 《重点事業》
事業予算(千円)	21,654
令和2年度実施内容	
市のスクールソーシャルワーカー★(SSW)5人(R1:5人)を非常勤職員として任用、市内の5つの中学校区に週4日配置する。	
指標	
①暴力行為発生件数：前年度以下(R1:119件)	
②いじめ認知件数：前年度以下(R1:96件)	
③不登校児童生徒数：前年度以下(R1:小学校 60件 中学校 81件)	
実施内容に係る予算(千円)	20,862(+2,436)

事業名	教育相談事業
事業予算(千円)	30,729
令和2年度実施内容	
全小学校に週1日(学校規模に応じ週2日)スクールカウンセラー★(SC)を配置する。また、教育センターに毎日複数名のカウンセラーを配置し、児童生徒・保護者及び教職員の悩みの早期解決をめざす。	
指標	
①SCの校内会議参加率：100%	
②いじめ事案へのSCの関わり：100%	
実施内容に係る予算(千円)	30,729

事業名	適応指導教室事業
事業予算(千円)	7,210
令和2年度実施内容	
不登校の児童生徒に対して、パル（適応指導教室）での指導や小中学校へのさわやかフレンド★派遣を実施し、自立への支援を行う。	
指標	
学校復帰率：50%以上	
実施内容に係る予算（千円）	7,210

②進路選択の支援

子どもたちが家庭事情や経済的理由等で進学や就学をあきらめることのないよう、進路選択に向けた支援を行う。

事業名	進路選択支援事業
事業予算(千円)	107
令和2年度実施内容	
進路選択相談員★を配置し、家庭事情や経済的理由等で進学や就学が困難な生徒、及び保護者に対して相談・支援を行う。	
指標	
①相談時間延長実施：月2回	
②奨学金制度の周知：パンフレットの作成及び中学2・3年生への配付	
実施内容に係る予算（千円）	107

③防災教育の推進

災害のメカニズムや地域の危険性や対策に関する知識を習得し、状況に応じて自らの判断で安全を確保する、いわゆる「生き抜く力」を育むために防災教育を推進する。

事業名	防災教育の推進
事業予算(千円)	—
令和2年度実施内容	
摂津市防災対策事業による「防災教育の手引き」に基づき防災教育の授業を実践する。	
指標	
学校安全担当者会を実施し、実践的な避難訓練を実施する。(R1：小学校8校、中学校：1校)	
実施内容に係る予算（千円）	—

(6) 一貫性のある 教育

変化の激しい現代社会に対応するため、就学前から中学校卒業までの長期的な視点を持ち、円滑な接続を図るため継続的で一貫性のある教育を推進します。

①就学前教育と保幼小連携の充実

就学前教育の充実を図るとともに、小学校生活への円滑な接続を図るため、保幼小交流会や合同研修などにおいて、保育士・幼稚園教諭等と小学校教諭の連携充実を行う。

事業名	就学前教育推進事業
事業予算(千円)	120
令和2年度実施内容	
公私立保育所等の保育士、保育教諭、幼稚園教諭、小学校教諭を対象とした就学前教育研修を実施する。	
指標	
公立保育所、幼稚園の保護者アンケートにおいて、就学前教育に係る項目の肯定的な回答率：95%以上	
実施内容に係る予算(千円)	120

②小中一貫教育の推進

義務教育修了時点で、社会において自立して生きる力を育むためには、9年間を見通した目標のもとで小中一貫教育を計画的に行う必要がある。また、その推進を図るため先進的に取り組んでいる自治体を視察し、研究を進める。

事業名	小中一貫教育推進事業
事業予算(千円)	766
令和2年度実施内容	
摂津市小中一貫教育推進協議会※を開催し、年度目標や具体的な取り組みについて協議する。	
指標	
キャリアパスポート※の活用状況について他校と交流している学校の割合：60%以上	
実施内容に係る予算(千円)	194

※小中一貫教育推進協議会：めざす学校の姿の実現に向け、義務教育9年間を見通した学習指導・生徒指導等の充実を図り、小中学校の一貫した教育を推進する学識、学校、市教委の代表により構成された協議会。

※キャリアパスポート：小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる学習の記録を、自身の変容や成長を自己評価できるように綴ったファイル。

(7)
教育の質を高める体制

学校園所が主体性をもち、経営計画をもとに教育・保育活動を実施し、家庭や地域などの意見を踏まえた評価を行い、学校運営の改善を図ります。

①学校園所経営の改善と職員育成

全ての小中学校・幼稚園・保育所が、経営計画を作成し、併せて評価（自己評価）を実施する。また、これからの時代に求められる力を子どもたちに育み、多様な教育課題の解決を図るために、様々な研修の機会を通して、職員の教育や保育に係る見識を深め、指導力等の力量を高める。

事業名	学校評価の充実
事業予算(千円)	—
令和2年度実施内容	
年度毎に学校経営計画に基づき学校評価※を実施・公表し、効果的に活用して、学校・家庭・地域の連携により、学校運営の改善や教育水準の向上を図る。	
指標	
学校評価実施校数：全校	
実施内容に係る予算(千円)	—

※学校評価：学校が目標や取り組みの達成状況を明らかにして、学校運営の改善を図るために行うもの。

自ら行う「自己評価」は実施と公表が法律で定められている。さらに「学校関係者評価」や「第三者評価」がある。

事業名	学校教育相談員配置事業
事業予算(千円)	12,103
令和2年度実施内容	
全校に対して巡回指導及び拠点校指導し、経験の浅い教職員の資質向上を始め、授業力・学級経営力の向上や生徒指導等、学校における諸課題に対応するための指導助言を行う学校教育相談員を配置する。	
指標	
①学校教育相談員による指導等の効果：自己成長・確認シート※の自己評価の向上	
②学校におけるメンターチーム※との連携：100%	
実施内容に係る予算(千円)	9,443

※自己成長・確認シート：校内研修シートにあるレーダーチャート。「授業・教科の指導力」「集団づくり」「取り組む力」「教育への情熱」「組織の一員としての力」「社会人としての基礎的素養」の5領域全30項目について4段階で自己評価を行う。

※メンターチーム：複数の先輩教職員と複数の若手教職員等でチームを編成し、若手教員の資質能力の向上を支援することで相互の人材育成を図るOJTの一つのシステム。

事業名	研修事業
事業予算(千円)	1,200
令和2年度実施内容	
教職員の経験年数に応じたステージ別研修や教育課題解決のための専門的な知識や技能の習得を図る課題別研修を実施する。	
指標	
①教育センターサマーセミナー開催	
②研修の充実：研修後アンケートの「研修の内容を学校の取組みに生かす」についての肯定的意見90%	
③メンターチームを活用した研修実施校数：全校	
実施内容に係る予算(千円)	1,200

事業名	教育関係団体補助金事業		
事業予算(千円)	3,210		
令和2年度実施内容			
各教育団体の研究等、教育活動の推進に必要な事業に係る補助を行う。			
指標			
—			
実施内容に係る予算(千円)	3,210		

事業名	学校経営研究会	
事業予算(千円)	－	
令和２年度実施内容		
管理職を対象に学校マネジメントに係る研修を実施し、研究を進める。		
指標		
研修実施回数：３回		
実施内容に係る予算（千円）	－	

②地域・関係機関との連携強化

地域に根ざした学校づくりのために、学校が教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すとともに、説明責任を果たし、家庭や地域との連携協力を進めていく。また、各校は学校評価を行い、その結果を公表する。

事業名	学校協議会の積極的運営	
事業予算(千円)	－	
令和２年度実施内容		
学校協議会※を開催し、学校経営計画や学校自己診断、各種調査結果を報告し、学校運営に関する内容について協議する。		
指標		
学校協議会を複数回実施した校数：全校		
実施内容に係る予算（千円）	－	

※学校協議会：保護者や地域住民の声を学校運営に反映し、また校長の求めに応じて、保護者・地域住民・有識者等が様々な観点から意見交換や提言を行う組織。校長が委員を委嘱し、年間を通じて計画的に会議や行事参観等を行っている。

事業名	積極的な情報の発信	
事業予算(千円)	—	
令和2年度実施内容		
市の広報課と連携し、さまざまな児童生徒の活躍や取り組みを市の広報やWeb ページで紹介する。		
指標		
—		
実施内容に係る予算(千円)	—	

目標 2 支援教育の充実

(1) 支援教育と 就学支援

支援を必要とする幼児児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適切な指導や必要な支援、教育環境の整備を進め、生活自立や社会的自立をめざした教育の充実に努めます。

①個に応じた一貫性のある指導の推進

障害の有無にかかわらず、全ての人が平等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼーションの理念のもと、支援学級担任や教職員の専門知識や指導技術の向上を図る。

事業名	特別支援教育推進事業 《重点事業》			
事業予算(千円)	57,957			
令和2年度実施内容				
①支援学級（自閉症・情緒障がい学級）にカームダウンスペース※を設置する。効果的な活用に向け、校長会等で周知し、併せて支援教育研修や学校巡回相談等、教職員が活用の仕方を学ぶ機会を設ける。				
②早期支援の実現と適切な学びの場の選択、支援の必要な児童生徒についての理解促進を図るため、保護者リーフレットを作成する。				
③聴覚障害のある児童生徒が、授業中や集団活動時の教師の説明や指示等を聞き取るための補聴援助システムを導入し、必要とする児童生徒への合理的配慮を提供する。				
④個に応じた適切な支援を行うため、特別支援教育推進指導員★を配置し、市内小中学校の巡回相談や研修を実施し、教員の特別支援教育に関する専門性を育成する。				
指標				
①カームダウンスペースを全小中学校に1台ずつ設置				
②新就学児及び小学6年児童の保護者、市内小中学校の支援学級在籍または通級指導を受けている児童生徒の保護者へ配付				
③補聴器を使用している児童生徒へ補聴援助システムを貸与				
④市内全小中学校への巡回相談の実施：30回				
実施内容に係る予算(千円)	①3,300(新規)	②198(新規)	③568(新規)	④3,380(+20)

※カームダウンスペース：児童生徒が自分だけの空間を持つことにより、気持ちを落ち着かせて過ごせる空間。

②相談体制の充実

障害のある子どもたち一人ひとりの障害特性を理解するとともに教育的ニーズを把握し、効果的な指導や支援の充実を図る。

事業名	就学児指導事業
事業予算(千円)	442
令和2年度実施内容	
教育関係者、福祉関係者、及び必要に応じて医師等で構成する教育支援会議を開催し、就学先の選択や学校における支援の手だてについて適切な助言を行う。	
指標	
支援学級入級または退級、及び支援学校転学を検討する児童生徒全員について教育支援会議を開催	
実施内容に係る予算(千円)	442

目標 3 安全安心で快適な学校・地域づくり

(1) 安全安心で 快適な学校 環境整備

児童生徒にとって安全安心で快適な学校環境整備を進めるとともに、災害時における児童生徒の安全を確保し、また地域住民の避難所として必要な機能が発揮できるよう、防災機能の強化を図ります。

①教育環境の整備

建築後 30 年以上経過している施設の改修や非構造部材の耐震化等を行い、安全安心で快適な学校環境の整備を図る。

事業名	小中学校施設改修事業 《重点事業》
事業予算(千円)	452,967 (R1 度繰越含む)
令和 2 年度実施内容	
①小学校 3 校（味舌、千里丘、摂津）、中学校 2 校（第二、第三）のトイレ改修工事を行い、小学校 1 校（鳥飼北）の実施設計を行う。 ②小学校 1 校（味生）、中学校 2 校（第二、第三）の照明灯を LED 化するため、実施設計を行う。 ③摂津小学校屋内運動場（体育館）の外壁・屋根等改修工事を行う。 ④千里丘小学校の児童数増加への対応に向けた基礎調査と基本構想案を策定する。	
指標	
①7 年計画（H30～R6）の 3 年目 改修校数：7 校（H30：0 校＋R1：2 校＋R2：5 校） ②6 年計画（R2～7）の 1 年目 実施設計校数：3 校（1 年目のため設計のみ） ③工事の完了。 ④基本設計費（基礎調査と基本構想を反映）を予算化する。	
実施内容に係る予算(千円)	451,397 (R1 度繰越含む) (- 75,938)

②感染症の予防

幼稚園、学校には成人と比べ抵抗力の未発達な幼児、児童生徒が集団生活をしており、さまざまな感染症が発生しやすく、また拡大しやすい状況であるため、感染予防を図る。

事業名	小中学校保健事業	
事業予算(千円)	30,964	
令和2年度実施内容		
子どもの心身の健康を守り、安全安心を確保するため、市内公立全幼小中学校において、「学校欠席者情報収集システム※」を用い集計した結果を迅速に市内公立全幼小中学校に発信し、感染予防を図る。		
指標		
学級閉鎖学級数		
実施内容に係る予算(千円)	30,964	

※学校欠席者情報収集システム：国立感染症研究所が開発し、運営するシステム。各学校が毎日入力した欠席者等の情報により、保健所、学校医、教育委員会等が感染症の流行状況をリアルタイムに把握できる。

③学校給食の安全衛生管理

平成27年6月から各中学校で開始したデリバリー方式選択制給食を継続実施するとともに、今後の学校給食の在り方について実施方式等を判断するための研究を行う。

また、小学校給食調理場の衛生管理を強化するため、衛生管理研修の実施や衛生管理マニュアルの順守を徹底し、食の安全確保を図る。

事業名	中学校給食事業　《重点事業》	
事業予算(千円)	46,839	
令和２年度実施内容		
中学校給食の喫食率向上に向けて、喫食キャンペーンを開催するなど、生徒・保護者に中学校期の食の大切さを伝えるとともに食への関心を高める。 また、令和元年度に実施した「摂津市立学校給食実施方式等の検討に係る調査業務」の調査結果を受け、市にとってより良い給食の実施について調査・研究を行う。		
指標		
中学校給食喫食率：10%以上		
実施内容に係る予算（千円）	0（-3,216）	

事業名	小学校給食事業
事業予算(千円)	372, 946
令和2年度実施内容	
食中毒等の防止のため、抜き打ちのふき取り検査を実施し、手洗い消毒等の日々の衛生管理を徹底するよう指導を行う。また、衛生管理マニュアルの順守の徹底を図るため、効果検証会議を適宜行う。	
指標	
黄色ブドウ球菌が検出された調理員数：前年度以下（R1：2人 参考：H30 3人 H29 4人）	
実施内容に係る予算（千円）	372, 946

(2)
安全安心な地
域づくり

登下校時における児童生徒の安全を確保するとともに、子どもたちが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

①登下校時の安全確保・見守り体制の充実

登下校時における子どもたちの安全を確保するため、学校・保護者、教育委員会、関係機関と地域ボランティアとの協力を密に行い、受付員や地域学校安全指導員※(スクールガード・リーダー)、交通専従員の配置を中心に地域と一体となった見守り体制の構築を図る。

※地域学校安全指導員：子どもたちの安全・安心確保のため、学校や通学路での巡回指導を行うことで、危険個所の把握や改善、児童生徒への安全啓発の中心となる指導員。(元警察官1名を配置)

事業名	安全対策事業
事業予算(千円)	18,318
令和2年度実施内容	
○青色防犯パトロールカーで街頭犯罪や子どもに対する声かけ事案の抑止を図ることも安全巡視員を配置する。	
○全公立幼稚園、小学校の校門に不審者侵入を防止する受付員を配置する。	
指標	
公立幼稚園、小学校の不審者侵入件数：0件	
実施内容に係る予算(千円)	18,318

事業名	スクールガード・リーダー配置事業
事業予算(千円)	546
令和2年度実施内容	
不審者事案を抑止するスクールガード・リーダーを配置する。	
指標	
地域学校安全指導員巡回数：80回	
実施内容に係る予算(千円)	546

事業名	小中学校通学区事業
事業予算(千円)	23,519
令和2年度実施内容	
通学路交通安全プログラム※に基づき、合同点検を実施し、適切な安全対策を行う。	
指標	
○通学路における改善可能箇所に対する措置完了率：80%以上	
○過去の改善箇所を写真等を用いて Web ページに公表	
実施内容に係る予算（千円）	23,160

※通学路交通安全プログラム：平成27年度、道路管理者や警察などの関係機関が連携し合同点検を行うなど、児童・生徒の安全な通学路を確保するために策定。

事業名	地域子ども安全安心事業	
事業予算(千円)	662	
令和2年度実施内容		
子どもの安全対策に取り組む各種団体の連携を強化する。		
指標		
地域防犯研修会参加者数		
実施内容に係る予算(千円)	662	

目標 4 子ども・子育て支援の充実

(1) 子ども・子育て支援の充実

安心して子どもを産み育て続けられるよう、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実とともに就学前教育・保育環境の充実を図ります。

①教育・保育の充実

教育・保育のニーズを踏まえた子ども・子育て支援事業計画に基づいた教育・保育事業の提供体制を整備・充実させる。

事業名	民間保育所等施設整備補助事業 《重点事業》
事業予算(千円)	146,978
令和2年度実施内容	
第2期摂津市子ども子育て支援事業計画に基づき、待機児童の解消を図るため、民間保育所等の施設整備に対しての補助金交付を行う。	
指標	
①待機児童数：前年度以下（H31年4月 29名）	
②保育所整備率※：前年度以上（参考：H31年4月 50.3%）	
実施内容に係る予算(千円)	146,702（-95,800）

※保育所整備率：0～5歳の未就学児数に対する整備済みの保育所定員数の割合。

事業名	子ども・子育て支援事業
事業予算(千円)	555
令和2年度実施内容	
子ども子育て会議において、摂津市子ども・子育て支援事業計画や子ども・子育てに関する総合的な推進などに関して意見を聴取する。	
指標	
子ども子育て会議開催回数	
実施内容に係る予算(千円)	555

事業名	民間保育所等入所承諾事業
事業予算(千円)	2,821,861
令和2年度実施内容	
○法令に基づき教育・保育認定を受けた子どもに対して給付を行う。 ○市内の民間保育所等に対して、保育士の宿舎借上げ支援の補助金及び保育士への就職支援金を支給するための補助金を交付する。	
指標	
民間保育所等で新たに採用した保育士等の人数	
実施内容に係る予算(千円)	2,821,861

②子育て相談・支援

子育てに関する不安や負担感の軽減・解消をはじめ、子育て世帯に関する事業や相談窓口を利用できるように、相談支援や情報提供の充実に努める。

また、児童虐待の相談窓口を広く周知し、関係機関の連携を強化して児童の安全を確認し、虐待の未然防止、早期発見と迅速で的確な対応・支援に取り組む。

事業名	地域子育て支援運営事業 《重点事業》
事業予算(千円)	72,297
令和2年度実施内容	
子育ての支援、相談、交流、仲間づくりの場を提供する。	
指標	
①子育て講座参加者数：定員の80%以上（参考：H30 定員929人、参加者数778人、割合84%） ②子育て講座参加者の満足度：80%以上	
実施内容に係る予算(千円)	72,297（+15,154）

事業名	児童発達支援事業
事業予算(千円)	422,792
令和2年度実施内容	
発達に課題があり療育を必要とする児童に適切なサービスが提供できるよう充実に努める。	
指標	
相談支援利用計画※の作成割合：100%	
実施内容に係る予算(千円)	422,792

※相談支援利用計画：指定障害児相談支援事業者が、サービス等の利用を希望する障害児の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせについて検討し、作成するもので、サービス利用者を支援するための総合的な支援計画。

事業名	ひとり親家庭自立支援事業		
事業予算(千円)	6,527		
令和2年度実施内容			
ひとり親家庭の就労に向けて個々の状況・ニーズに沿った助言・指導を行い、就労支援を行う。			
指標			
自立に向けたプログラムの利用者数			
実施内容に係る予算(千円)	6,527		

事業名	養育支援訪問事業		
事業予算(千円)	1,198		
令和2年度実施内容			
子育てに困難を感じている家庭に養育支援のための訪問活動を行う。			
指標			
訪問が必要と把握した世帯のうち、事業につながった割合			
実施内容に係る予算(千円)	1,198		

事業名	家庭児童相談事業　《重点事業》	
事業予算(千円)	37,415	
令和2年度実施内容		
児童虐待防止に向けて、社会福祉士や臨床心理士等の専門職を任用し、関係機関との連携や子どもや保護者へのアプローチを可能にすることで、早期発見と迅速な対応・支援に繋げる。		
指標		
48時間以内の安全確認実施件数の割合：95%以上		
実施内容に係る予算（千円）	20,410（+1,960）	

③子育て家庭に対する多様なサービスの充実

学童保育事業やファミリーサポートセンター運営事業など地域子ども・子育て支援事業の充実を図り、全ての子どもが地域の中で健やかに成長できる環境づくりを行う。

事業名	放課後子ども教室推進事業　《重点事業》		
事業予算(千円)	3,322		
令和２年度実施内容			
子どもの居場所づくりとしてのわくわく広場※を開催する。			
指標			
わくわく広場に参加登録している児童の割合：前年度以上			
実施内容に係る予算（千円）	3,322（-165）		

※わくわく広場：小学校施設を活用して実施することを基本とし、安全で安心な子どもの居場所づくりを推進する取組み。

事業名	学童保育事業
事業予算(千円)	325, 215
令和 2 年度実施内容	
適切な遊びや生活の場を与え、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、その健全な育成を図る。 令和 2 年度 4 月より午後 5 時から午後 7 時までの延長保育を行う。	
指標	
①学童児童数	
②学童保育指導員を対象とした研修実施回数：8 回	
実施内容に係る予算（千円）	315, 683

事業名	ファミリーサポートセンター運営事業		
事業予算(千円)	4,106		
令和2年度実施内容			
子育ての手助けをしてほしい人と手助けしたい人にそれぞれ会員登録していただき、両者を組み合わせることで、地域による子育ての支援を行う。			
指標			
実施できた件数			
実施内容に係る予算(千円)	4,106		

事業名	市立児童センター運営事業	
事業予算(千円)	26,514	
令和2年度実施内容		
遊びや生活の場を通して子どもの発達支援や家庭・地域の子育て支援に取り組む。		
指標		
児童センター利用者アンケート「満足」の割合：80%以上		
実施内容に係る予算(千円)	26,514	

事業名	子育て支援短期利用事業	
事業予算(千円)	600	
令和2年度実施内容		
一時的に家庭での生活が困難な児童に対して、児童福祉施設で養育、保護を実施する。		
指標		
相談のあった家庭のうち、事業が利用できた割合		
実施内容に係る予算(千円)	600	

④妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援

早期に妊婦やその家族の状況を把握し、出産、子育てに必要な支援を行う。

事業名	子育て世代包括支援事業 《重点事業》	
事業予算(千円)	23,765	
令和2年度実施内容		
母子健康手帳交付時に保健師・助産師による全数面接を実施し、若年妊娠、経済的・精神的に不安を持つ妊婦、疾患治療中の妊婦等を把握し、必要に応じて家庭訪問や電話での相談対応、支援サービスの提供等を行う。		
指標		
母子健康手帳交付時の面接実施率：100%（参考：H30 年度 100%）		
実施内容に係る予算（千円）	8,222（+4,805）	

事業名	妊婦健康診査事業		
事業予算(千円)	92,717		
令和2年度実施内容			
すべての妊婦が必要な健診を受診できるよう、妊婦健康診査について、1人あたり14回分、計12万円の公費助成を行う。			
指標			
—			
実施内容に係る予算(千円)	92,717		

事業名	出産育児相談支援事業		
事業予算(千円)	8,822		
令和2年度実施内容			
生後2か月程度の乳児がいるすべての家庭を助産師・保健師が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施する。			
指標			
こんにちは赤ちゃん訪問の実施率：100%（参考：現状値 89.4%）			
実施内容に係る予算（千円）	6,485		

事業名	乳幼児健康診査事業
事業予算(千円)	30,766
令和2年度実施内容	
4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳6か月児健診などの乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達の支援を行う。	
指標	
乳幼児健診(4か月・1歳6か月・3歳6か月児健診) 受診率の平均：100% (参考：H30 年度 96.2%)	
実施内容に係る予算(千円)	30,766

事業名	予防接種管理事業	
事業予算(千円)	220,617	
令和2年度実施内容		
予防接種法に基づく定期接種を実施することにより、疾患に対する免疫を高め、疾病を予防する。		
指標		
MR1 期、2 期ともに、接種率 95%以上		
実施内容に係る予算(千円)	220,617	

目標5 教育コミュニティづくりと生涯学習活動の推進

(1) 生涯学習の推進

個人のライフスタイルの多様化による生きがいの欲求に responding いくため、社会教育施設において、市民にあらゆる学習の機会を提供していきます。

① 学びにつづける機会の提供

「いつでも、どこでも、だれでも、自由に」学習することができる生涯学習を推進し、多くの市民が多様でより高い水準の学習ができ、活動できる学習環境を整備することで、生涯学習を通じて身につけた知識や技術を活用する機会を提供する。

事業名	生涯学習フェスティバル開催事業
事業予算(千円)	1,058
令和2年度実施内容	
大正川河川敷を中心に、行政・市民との「協働」による「生涯学習市民のつどい」、「生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー」を実施する。	
指標	
①生涯学習市民のつどい参加者数：50人（R1：43人）	
②生涯学習フェスティバルろうそくファンタジー参加者数：4,500人	
実施内容に係る予算(千円)	1,058

事業名	せつつ生涯学習大学事業
事業予算(千円)	464
令和2年度実施内容	
生涯学習リーダーやコーディネーターを養成するため、生涯学習大学、生涯学習大学院を開催する。	
指標	
①生涯学習大学受講者数：15人（R1：16人）	
②生涯学習大学院受講者数：5人（R1：11人）	
実施内容に係る予算(千円)	464

事業名	生涯学習出前講座開催事業
事業予算(千円)	—
令和2年度実施内容	
登録市民講師や市の職員が直接出向いて学習機会を提供する「まいどおおきに出前講座」を実施する。	
指標	
①まいどおおきに出前講座実施回数：250回（R1：316回）	
②受講者アンケート「満足」の割合：80%以上（R1：「満足」、「非常に満足」98%）	
実施内容に係る予算（千円）	—

②家庭教育力の向上

子どもの育つ環境としての家庭や地域社会の教育力を高め、子どもの健全な育成のために、家庭教育に関する学習機会を設けるとともに、家庭の意義、家庭の機能、その他家庭の教育的役割について保護者の自覚を促す。

事業名	家庭教育学級事業
事業予算(千円)	579
令和2年度実施内容	
家庭教育学級・幼児家庭教育学級・女性学級を開設し、家庭教育の重要性、家庭と社会とのつながり、家庭における人権問題について学習する。	
指標	
家庭教育学級・幼児家庭教育学級・女性学級の学級生数：130人（R1：124人）	
実施内容に係る予算（千円）	579

③学習施設の整備と活用

地域における生涯学習活動、及び地域コミュニティ活動の拠点として、公民館の適切な運営と公民館活動の充実を図る。

事業名	公民館施設改修事業 《重点事業》
事業予算(千円)	244,715
令和2年度実施内容	
安威川公民館の外壁改修並びに空調機等の更新工事を実施し、適切な施設管理を行う。	
指標	
公共施設総合管理計画に基づく施設改修率：100%	
実施内容に係る予算（千円）	244,715（+240,915）

事業名	公民館講座開催事業
事業予算(千円)	2,965
令和2年度実施内容	
公民館講座を実施し、学習機会の提供を行う。	
指標	
公民館講座実施回数：370回（R1：329回）	
実施内容に係る予算（千円）	2,965

(2)
青少年の健全育成の推進

次代を担うリーダー的存在として活躍する人材を育成するため、青少年指導員、こども会、PTA、及びその他青少年育成関係団体の活動を支援していきます。

① 青少年団体の活動支援と連携

青少年の健全育成に関わる各種関係団体の活動を支援し、青少年の健全育成を図る。

事業名	青少年団体育成事業・PTA 協議会育成事業・青少年指導員事業・こども会育成事業
事業予算(千円)	4,549
令和2年度実施内容	
青少年指導員連絡協議会、こども会育成連絡協議会、PTA 協議会などの青少年関係団体の育成及び活動の活性化に向けて指導・助言、事務局業務などの支援を行う。	
指標	
①子ども会親善スポーツ大会参加者数：300人（R1：約250人（子どものみで172人）） ②PTA 親善スポーツ大会参加者数：100人（R1：280人）	
実施内容に係る予算(千円)	4,549

② 体験学習等の機会の提供

青少年関係団体や各種関係団体などの参画により、子どもや親子が様々な体験や学習ができる機会を提供する。

事業名	こどもフェスティバル事業
事業予算(千円)	2,530
令和2年度実施内容	
大正川河川敷を中心に、こどもフェスティバルを開催する。	
指標	
こどもフェスティバル参画団体数：45団体（R1：46団体）	
実施内容に係る予算(千円)	2,530

事業名	青少年リーダー養成事業
事業予算(千円)	2,908
令和2年度実施内容	
小学生を対象に青少年リーダー育成を目的とするチャレンジャークラブ夏冬のキャンプの実施、及びこども会育成連絡協議会による冒険プログラム講習会を実施する。	
指標	
①キャンプ参加者アンケート「参加してよかった」の割合：80%以上（R1：91.9%（夏のみ）） ②冒険プログラム講習会受講者数：30人（R1：延べ51人）	
実施内容に係る予算(千円)	2,908

(3)
文化財の保護活用と市史編さん

郷土への愛着を深めるとともに次世代に文化財・歴史資料を引継ぐために文化財保護事業及び市史編さん事業に取り組みます。

①文化財の状況把握と保護

文化財を次の世代へと伝承するため、保存を図る。

事業名	文化財保護事業
事業予算(千円)	2,398
令和2年度実施内容	
○市内における掘削工事の立会調査等を実施する。 ○出土遺物等の展示会および講演会を実施する。 ○歴史ボランティア養成講座の実施、及び歴史ボランティアを講師とする「ふるさと摂津講座」を開催する。	
指標	
①埋蔵文化財調査：5カ所 ②ふるさと摂津講座延べ参加者数：150人（R1：113人） ③歴史ボランティア養成講座受講者数：3人（R1：5人） ④歴史講座 実施回数：3回（R1：4回）	
実施内容に係る予算(千円)	2,398

②市史編さんと歴史資料の調査・保存

地域にとって貴重な文化財を、市民がその価値について公開・展示・新修摂津市史の編纂等の様々な形で享受できるようにし、地域の郷土理解と文化の向上発展に努める。

事業名	摂津市市史編さん事業
事業予算(千円)	38,157
令和2年度実施内容	
○令和2～4年度に『新修摂津市史 本編』2巻（古代中世編、近世近代編）の発刊を目指して、編纂を進める。 ○歴史・文化資料等の調査・発掘・撮影を行い、将来、特定歴史公文書として市民へ公開等の説明責任を果たすべく、デジタルアーカイブ化に向け保存し、全史料を後世に遺す。	
指標	
美術・民俗・建築・地理の調査実施回数：10回（R1：10回）	
実施内容に係る予算(千円)	38,157

(4)
市民に
親しまれる
図書館

図書館は読書をはじめとする情報サービスを提供することにより、広く市民の知的要求に応える役割を担っています。子どもたちをはじめ、市民の皆様が図書館に親しみを持てるような環境づくりや活動に取り組んでいきます。

①図書館運営の管理

市民図書館、鳥飼図書センターにおいて機器を更新し、図書館サービスを充実させることにより、図書貸出の拡大を図る。

事業名	図書館運営事業・図書館施設管理事業・鳥飼図書センター施設管理事業
事業予算(千円)	142,586
令和2年度実施内容	
○図書館資料の収集、及び市民の読書環境・調べ学習の場を提供する。 ○図書館の機器を更新し、メールによる利用者通知サービスを拡充する。	
指標	
図書の貸出利用人数：前年度以上（R1：2月末現在延べ95,515人、H30：100,697人）	
実施内容に係る予算(千円)	142,586

②子ども読書活動の充実

映画会・おはなし会などの図書関連事業の開催により図書館利用の増大を図るとともに、子どもの学習意欲の向上と情報の発信地としての役割を担う。

事業名	子ども読書活動推進事業 《重点事業》
事業予算(千円)	—
令和2年度実施内容	
おはなし会の開催を中心的に進めるとともにビブリオバトル※、ぬいぐるみお泊り会※などの子どもを対象としたイベント実施を行い、子どもがより読書に親しむ環境づくりを行う。	
指標	
①おはなし会の実施回数：前年度以上（R1：148回） ②おはなし会の延べ参加人数：前年度以上（R1：1,396人）	
実施内容に係る予算(千円)	—

※ビブリオバトル：参加者が、それぞれの選んだ本の面白さについてプレゼンテーションを行い、一番読みたくなった本を投票して決定する書評合戦。

※ぬいぐるみお泊り会：子どもたちのお気に入りのぬいぐるみが図書館で過ごす様子を撮影し、子どもたちにレポートすることによって、本への関心を持ってもらうことを目的としたイベント。

〔参考〕 摂津市が独自に学校に配置している支援人材一覧

詳細は該当ページに記載しています。(★マーク)

● 摂津市が雇用（会計年度任用職員）し、学校に配置している人材

名称	内容	掲載頁
教育活動支援員	校長の学校経営方針のもと児童生徒の個別の学習指導や生活指導の支援、集団指導の支援などを行う。	P. 6
学校読書活動推進サポーター	児童生徒の読書活動を推進させることを目的とし、学校図書館の環境整備や図書の推薦、教員の読書指導の支援等を行う。	P. 6
学校教育相談員	経験の浅い教職員の授業、学級経営、生活指導などについての助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。	P. 10
部活動指導員	部活動の専門的な技術指導による生徒の技術向上と当該部活動の教員の業務時間、精神的な負担軽減を目的として各校に配置する。	P. 10
スクールソーシャルワーカー（SSW）	不登校や問題行動等の課題を抱えた子どもに対して、福祉の視点を取り入れた支援方法を用いて課題解決を果たす。	P. 13
スクールカウンセラー（SC）	学校において心理相談業務に従事する。（臨床心理士）	P. 13
進路選択相談員	高等学校、専門学校、大学等への進学に際して、経済的理由等により進学または修学を行うことが困難な生徒及びその保護者に対して相談、支援を行う。	P. 14
特別支援教育推進指導員	個に応じた支援を充実させるための指導助言を行うため、市内各校への巡回指導を行う。（臨床発達心理士）	P. 19
障害児等支援員	重度重複障害児童生徒が在籍する学校に配置し、対象児童生徒の生活介助・訓練・作業及び学習指導の補助を行う。	—

● 摂津市が定期的または一定期間に学校に派遣している人材

名称	内容	掲載頁
学習サポーター	子どもたちの学習活動を支援するために派遣している有償ボランティア。退職教員、地域人材、学生などが中心。	P. 6
日本語指導講師	海外からの帰国子女及び渡日児童生徒に対する適切な学校教育の機会の確保を図るために母語指導も含めて日本語指導を行う。	P. 7
国際理解教育社会人講師	児童生徒に他国・地域の言語や文化について、活動を通じて説明・紹介を行う。	P. 7
外国人英語指導助手（ALT）	教員を補佐し、生きた英語を児童生徒に伝える英語を母語とする外国人。	P. 11
外国語活動支援員	小学校の外国語活動の授業において、ティーム・ティーチングを通して教員を支援するとともに、外国語活動の充実のためにアドバイス等を行う。	P. 11
部活動補助員	部活動の専門的な指導技術を持ち合わせている外部人材。部活動顧問の専門的な指導技術をサポートする。	—

● 摂津市が定期的または一定期間に学校や教育センターに派遣している人材

名称	内容	掲載頁
さわやかフレンド	不登校の児童生徒に対して、話し相手や遊び相手、学習補助をする学生・大学院生による有償ボランティア。	P. 14